

祝 辞

小鳥たちの囀りに、暖かい春の訪れを感じる今日の
よき日に、六十年以上もの長きに渡り生徒たちを見守
り続ける伝統の学舎で、卒業証書授与式が執り行えま
す事に感謝し、保護者を代表致しましてお祝いの言葉
を申し上げます。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございま
す。様々な思いを胸に今日の日を迎えられた事と思い
ます。本校舎で行う最後の卒業式となりますので、ど
うか心の目にも焼き付けておいて下さい。

さて今日から皆さんは、将来に向かって一步を踏み
出し歩んで行く訳ですが、是非貴方の人生に添えて、
これから出会う人たち全てに「思いやりの心」を持っ
て接して行って下さい。人はひとりでは生きて行く事
は出来ません。これから貴方の人生の先々必ず他の人
と関わる事となります。自分自身を理解してもらおう
とすれば、先ず相手の事を理解しなければなりません。

皆さんも友達や家族と、喧嘩をしたりした記憶の一つや二つはあると思います。時間が解決してくれる事もあります。お互いの思いを交わし、場合によっては自分の非を認め謝ったりもした事でしよう。こう言つたコミュニケーションの積み重ねで、人は相互理解を深めて行きます。何よりお互いが「思いやりの心」を持って理解し合おうとしていれば、喧嘩すらする事も無いかもしれません。家庭が違えば考え方も違います。国が違えば、文化や歴史も違って当然です。互いを尊重し合い、人間関係を築いて行きましよう。そしてより多くの人と出逢い、色々な考え方を学びましよう。今や多くのコミュニケーションツールが存在します。その氣になれば翻訳機能を利用して、言葉を知らなくても世界中の人と交流出来たりもします。ラインなどで文字やスタンプだけで事を済ます事も多くなりましたが、たまには直接会つて話をする事も大切です。

ご承知の通り、この二十一世紀と言う時代に於いて、世紀の蜜行が繰り広げられています。目を背けたくな

りますが、信じ難い事実です。嘗て日本の戦国時代の
ような事が、実際に起こっているのです。この様な話
題を取り上げるのに躊躇いもありましたが、当たり前
のように今日の日を迎えられている喜びを、あらため
て幸せと感じてもらいたいと考えました。平和を永遠
のテーマとしない為にも、私たち一人ひとりがお互い
を思いやり尊重すると言った、当たり前前のルールを再
認識しながら、生きて行かなければなりません。自分
の思い通りにならないからと、人の物や命を奪うなど
許されるはずもなく、絶対に許してはなりません。こ
のような事が公然と行われている世の中を、今生きて
いる私たちが変えていかねばりません。皆さんのこれ
からの人生が、豊かで幸せであり続ける為にも。

保護者の皆様、本日は誠にお子様のご卒業おめでと
うございます。また平素よりPTA活動にご理解とご
協力頂きありがとうございます。ご入学されてより、
ようやく中学校生活に慣れてきたと安心されていた矢

先、コロナ禍に見舞われる事となりました。二年間以上もの間、学校生活の様子を直接見る事叶わず、寂しい思いをされた事と思います。今日のお子様のたくましく前を見て卒業して行く姿をみて、安心して頂ければと思います。

最後になりましたが、一安校長先生をはじめ教職員の皆様には、子どもたちがお世話になり本当にありがとうございました。今までに経験したことのないこのパンデミックにおきまして、子供たちの学校生活を変えず維持するにあたり、相当な苦勞があつたに違いありません。「生徒ファースト」を徹底して実践頂けた事を、心より感謝申し上げます。

堀江中学校の益々のご発展を、心よりお祈り致します。お祝いの言葉とさせていただきます。

令和四年三月十一日

大阪市立堀江中学校PTA

会長 西村 一彦